



広報

しょうばら

8

2006/August
No.17

Shobara
SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

今月の主な内容

- 「夢」あるまちづくりに向けて…………… 2
- 県立広島大学研究開発助成事業…………… 7
- 地域の「夢」をカタチに…………… 8
- 庄原市産直市連絡協議会発足…………… 10
- ㈱庄原市農林振興公社を設立…………… 11
- 各地域の生活交通を見直します…………… 12
- 市の花、市の木を制定しました…………… 12
- 中学校職場体験学習…………… 14
- シリーズ 市の台所事情…………… 16
- 健康広場「胃癌の最近の治療法」…………… 17
- ぐるりしょうばらカメラレポート…………… 18
- お知らせ…………… 24
- 発見!しょうばら…………… 32

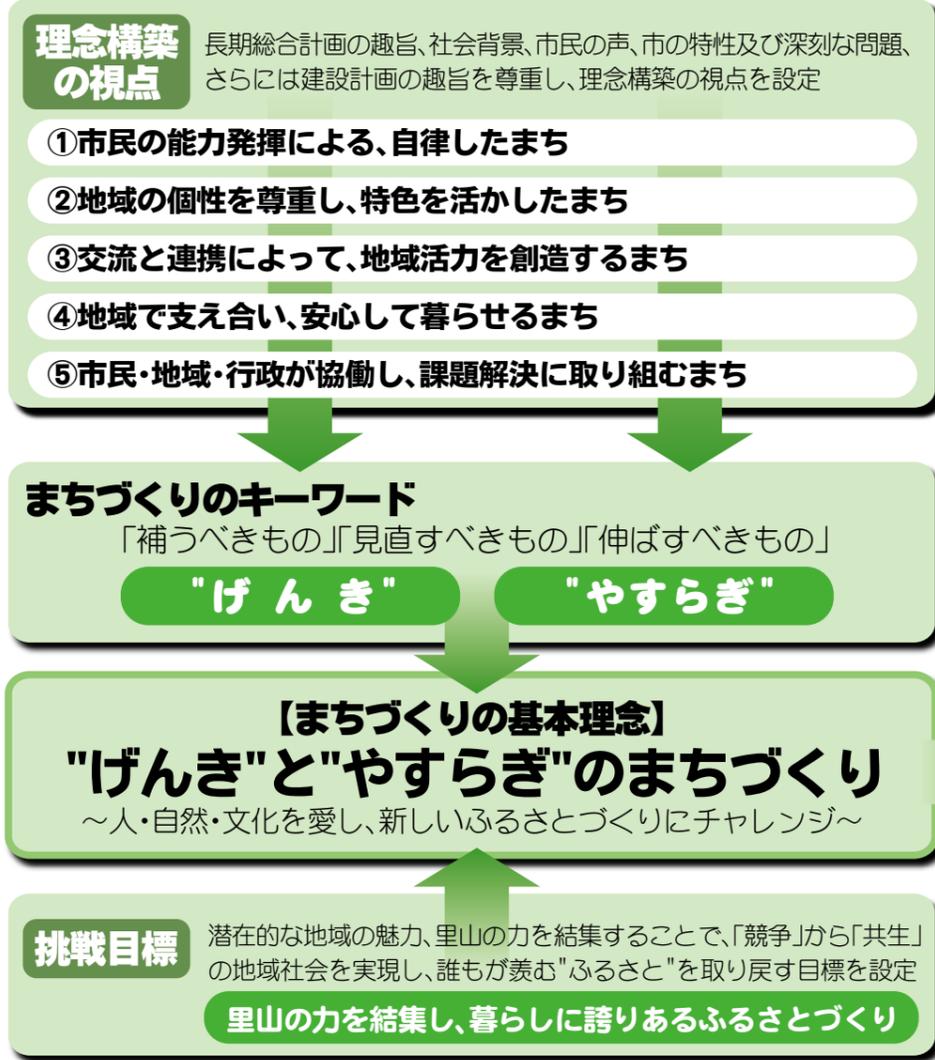


ふるさと自慢 うた自慢

庄原市合併1周年を記念して行われたラジオ公開録音(関連18ページ)

2. まちづくりの基本理念

まちづくりの基本理念は、市民と行政が共有し、未来の庄原市を創造する「基本的な考え」を意味しています。



〈将来像〉
"げんき"と"やすらぎ"のまちづくり
～人と地域が輝く、美しい日本のふるさと～
やま文化都市

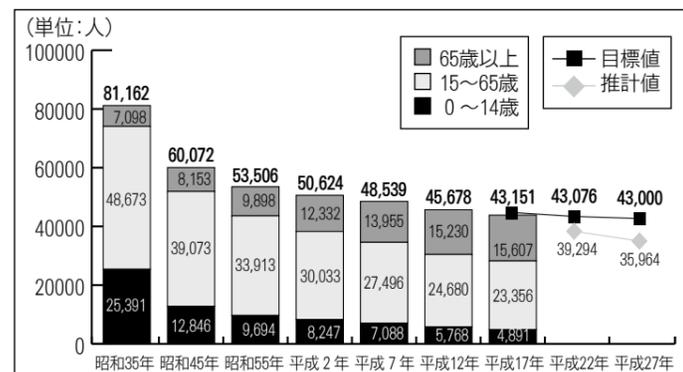
3. 将来像

自然環境や地域の歴史・文化を改めて見つめ直し、忘れていた豊かな心を取り戻すことで誰もが「しあわせ」を実感し、人も地域も輝くまちを創造するための"めざすべき市の姿・未来に向けた目標"です。

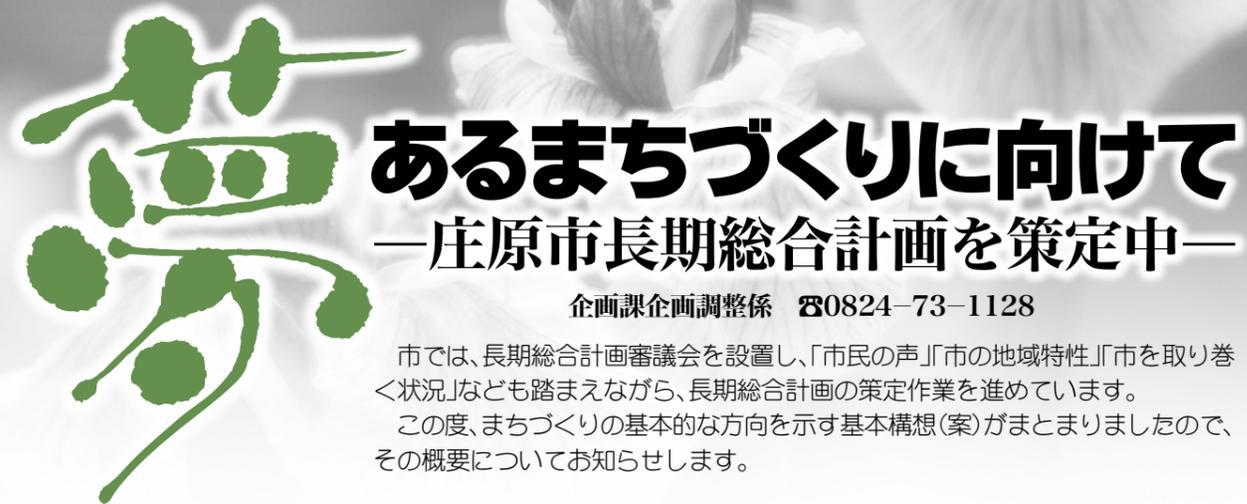
10年後の目標人口43,000人

本市の人口は、著しい減少が続いており、平成13(2001)年に作成された日本統計協会の資料によると、10年後にあたる平成27(2015)年の人口は、35,964人になると予測されています。

基本構想(案)では、産業の振興や都市基盤の整備、総合的な生活環境の充実によって定住を維持・促進するものとし、平成27(2015)年の目標人口を、現在とほぼ同数の43,000人に設定しています。



資料：国勢調査(平成17年合計人口は速報値、年齢階級別人口は住民基本台帳)
推計値 財団法人日本統計協会
※年齢不詳人口があるため、必ずしも合計人口と一致しない。



あるまちづくりに向けて ー庄原市長期総合計画を策定中ー

企画課企画調整係 ☎0824-73-1128

市では、長期総合計画審議会を設置し、「市民の声」「市の地域特性」「市を取り巻く状況」なども踏まえながら、長期総合計画の策定作業を進めています。
この度、まちづくりの基本的な方向を示す基本構想(案)がまとまりましたので、その概要についてお知らせします。

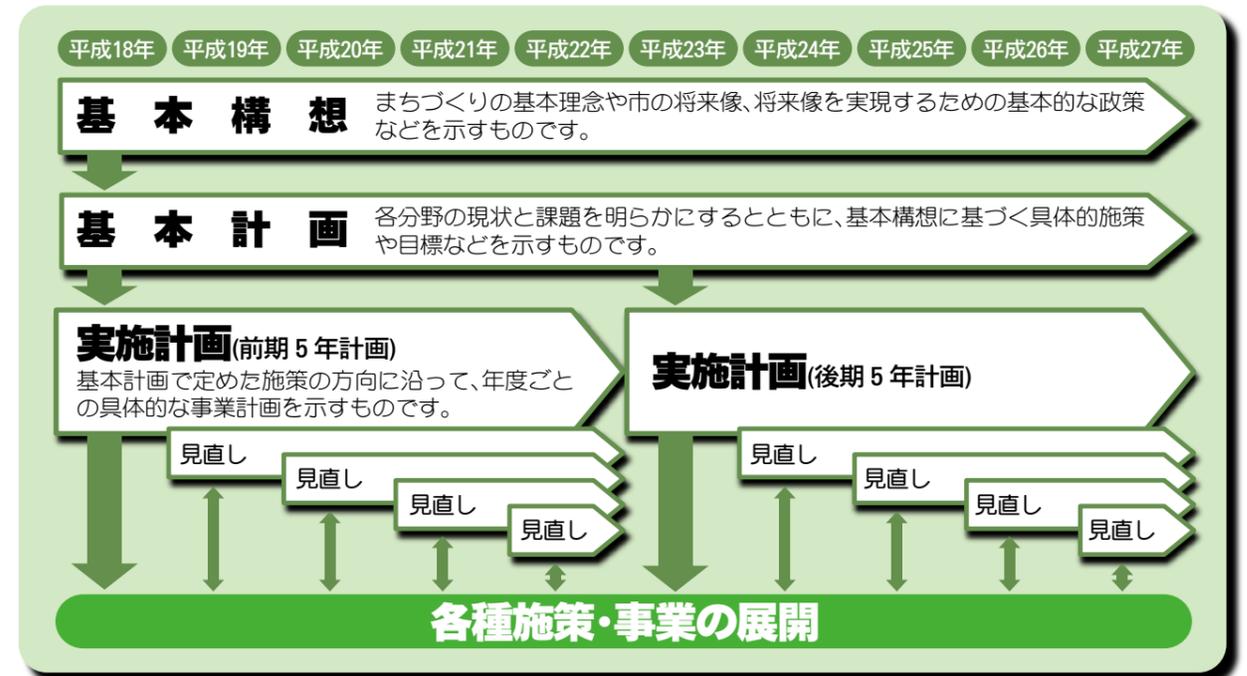
長期総合計画

1. 計画の趣旨

地方自治法で「市町村は、その事務を処理するに当たっては、議会の議決を経て、その地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行うようにしなければならない。」と規定され、長期総合計画は、本市のまちづくり、地域づくりの最も上位に位置づく行政計画となります。

2. 計画の構成

長期総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成される行政計画の総称です。



基本構想(案)

1. 深刻な問題

各市町村は、さまざまな問題や課題を抱えています。本市の場合、特に深刻な問題として、「人口の減少」「基幹産業(農林業)の衰退」「財政状況の悪化」の3項目が挙げられ、これらが相互に関係する中で悪循環を招き、地域活力が低下しています。



■地域ワークショップ

市内7地域にワークショップを設置し、それぞれ3回の開催で「地域の特性や課題」「こんな地域でありたいという願い」などについて意見を交換しました。

地域ワークショップで出されたアイデアや提案なども長期総合計画の中に反映させることにしています。

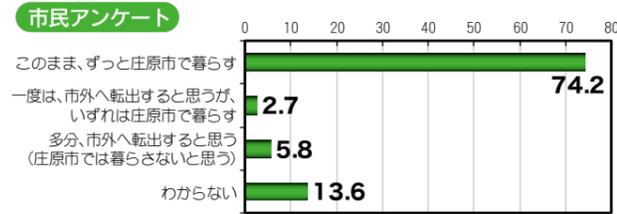
●ワークショップとは

参加者同士がアイデアを出し合い、意見交換を行ってグループでの提案を取りまとめる手法です。



東城地域ワークショップ

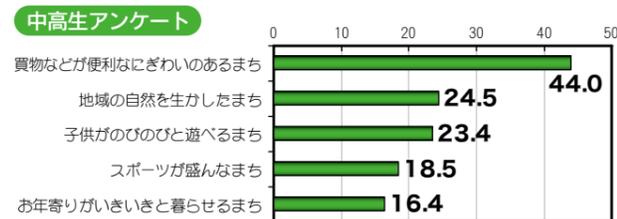
■問:今後も、庄原市に住みたいと思いますか。(1つだけに○)



■問:今後も、庄原市に住みたいと思いますか。(1つだけに○)



■問:庄原市は、将来、どんなまちになってほしいですか。(2つ以内に○)



長期総合計画審議会

各団体の代表者や学識経験者、公募市民など、合計25人で構成する庄原市長期総合計画審議会を設置し、総合計画の策定に関する審議をお願いしています。

■第2回審議会(6月2日)

事務局から「住民意向アンケート調査の結果」「市の基礎データ」「基本構想(素案)」などについて説明しました。委員からは、「商工業の衰退も顕著となっている」「それぞれの地域の良さを活かしたい」「旧町の市街地機能も充実が必要ではないか」「目標人口の設定は、十分な検討が必要」などの意見が出されました。

■第3回審議会(7月4日)

前回審議会での意見、地域審議会での意見について、事務局から回答及び対応案を説明しました。

委員からは、「広域的な視点を盛り込んでどうか」「重点戦略プロジェクトとして工業振興の視点も必要ではないか」などの意見が出され、基本構想(素案)について慎重な審議が行われました。

この会議で、基本構想(素案)が基本的に承認されましたので、今後は、この基本構想(案)に基づき、基本計画の策定作業を進めていきます。



第3回審議会

新市建設計画と長期総合計画との関係は?

新市建設計画は、「合併特例法に基づく合併の検討材料となるビジョン・計画」であり、建設計画に掲載された事業に対しては、合併特例債など、一定の財源優遇措置が講じられます。

長期総合計画は、前述のとおり「地方自治法に基づく基本構想・行政計画」ですが、今回は、合併後に初めて策定する計画であることから、建設計画の理念や将来像を尊重し、策定を進めています。

■基本政策

基本となる分野別の総合政策

- ①協働の力で 笑顔が輝くまち……………自治・協働
- ②さとやま資源の活用で 地域が輝くまち……産業・交流
- ③自然との共生で 暮らしが輝くまち……………環境・基盤・定住
- ④心と体の健康づくりで 命が輝くまち……………保健・福祉・医療
- ⑤ふるさとを愛する心で 人が輝くまち……………教育・文化

■重点戦略プロジェクト

先導的な役割を果たす分野を超えた重点政策 『みどりの環』経済戦略プロジェクト～しあわせ倍増プラン～

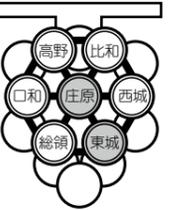
大切にすべき視点

- 高齢者や障害者が力を発揮するまち、できるまち
- 女性がいいきいきと活躍するまち、できるまち
- 未来を担う子どもたちを育成するまち、できるまち



クラスター(ぶどうの房)型の未来都市づくり

- 地域の個性や特性を活かした「ふるさと」の構築
- それぞれの個性を発揮・連携しながら発展するクラスター型の都市を形成



基本計画の策定へ

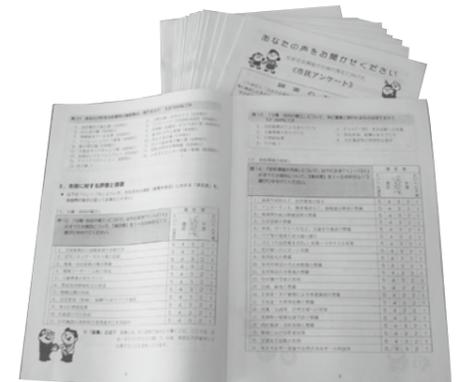
市民の声を長期総合計画に活かす

住民意向アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

アンケート調査

合併前後の住民意識、関心の高い施策やこれまでの施策評価など、市民の皆さんの意識や満足度を把握し、よりよい行政運営・計画づくりに反映させるため、市民アンケートを行いました。

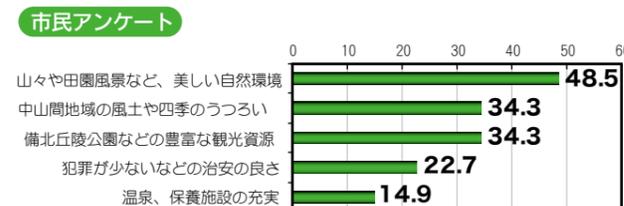
市内に居住される18歳以上の市民の中から、無作為に5,600人を抽出し、約半数の2,771人から回答をいただきました。また、市内の中学校と高校で、それぞれ2年生全員を対象に中高生アンケートを実施し、705人の皆さんから回答をいただきました。



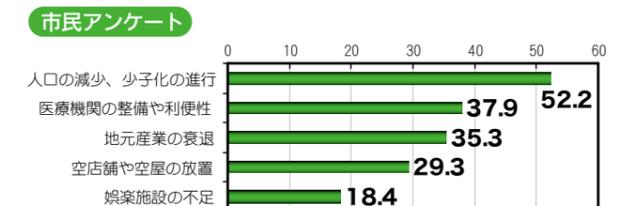
住民意向アンケート調査抜粋(上位5位)

単位:%

■問:庄原市の自慢できるものは、何だと思いますか。(3つ以内に○)



■問:庄原市のいやなところ不満な点は、何だと思いますか。(3つ以内に○)



基本構想(案)への意見を募集します

●基本構想(案)の閲覧方法

市ホームページ「長期総合計画」でご覧いただけます。
※意見提出用紙は、ホームページからダウンロードできます。

●募集期間

平成18年8月17日(木)まで

●意見の提出方法

氏名または団体名、住所、電話番号をご記入のうえ、次のいずれかの方法でお送りください。

①持参の場合

企画課または各支所地域振興課自治振興係

②郵送・FAX・電子メールの場合

庄原市地域振興部企画課あて

〒727-8501

広島県庄原市中本町一丁目10番1号

FAX0824-72-3322

メールアドレス

kikaku-chousei@city.shobara.hiroshima.jp

●意見を提出できる方

市内に住所を有する方または団体、市内に通勤・通学されている方

平成18年度 第1回地域審議会

平成18年度第1回の地域審議会が6月下旬に市内7地区で開催されました。

審議会では、長期総合計画の基本構想(素案)と実施計画事業の平成18年度予算措置状況について説明を行い、さまざまな意見が交わされました。

基本構想に対する主な意見は次のとおりです。

- 10年後の目標人口(43,000人)に向けた定住施策、人口減少対策を重点的に実施してほしい。
- 商工業分野での記述が少ない。商工業の活性化対策を計画へ盛り込んでほしい。
- 地域情報化の推進を積極的に図ってほしい。
- 自治振興区(協働の視点)に関する項目を積極的に盛り込んでほしい。
- 農業自立振興プロジェクトの充実と具体的な取り組みを強く望む。

地域審議会での意見を踏まえ、基本構想(素案)の一部見直しを行い、今後、基本計画の策定を進めることにしています。

実施計画事業のH18予算措置状況 (一般会計)普通建設

地域名	計画事業額(千円)	予算事業額(千円)	措置率(%)	
全域事業	1,195,196	1,089,549	91.2	
地域事業	庄原	2,706,400	2,444,501	90.3
	西城	399,596	371,508	93.0
	東城	353,778	328,535	92.9
	口和	336,002	322,197	95.9
	高野	294,056	280,467	95.4
	比和	389,638	351,920	90.3
	総領	254,720	217,030	85.2
合計	5,929,386	5,405,707	91.2	



比和地区地域審議会

*審議経過・会議資料につきましては、市ホームページへ掲載しています。

■地域振興部企画課 ☎0824-73-1128

◆県立広島大学研究開発助成事業

18年度の新規助成

対象研究課題が決定

企画課政策企画係 ☎0824-73-1114

新たに3課題を採択

市では昨年度から、県立広島大学の研究者が行う地域資源を活用した農林業振興や環境保全の研究に対し助成する「県立広島大学研究開発助成事業」を実施し、18年度の新規助成対象研究課題として、表1のとおり3点の課題を採択しました。

この事業は、大学の研究者が所有するシーズ(種)を活用した研究成果を商品化・事業化に結び付け、新たな産業創出による地域活性化を図ることを目的としています。

5月に研究課題を募集したところ10件の提案があり、審査を経て3件の研究課題

を助成対象として決定しました。

今後は、研究に取り組む研究者と連携しながら、研究成果が事業化、地域活性化につながるよう取り組みを進めていきます。

また、平成17年度に採択した5つの研究開発課題は表2のとおりです。このうち、2年間の研究期間を設けた①から④までは現在も研究が進められ、単年度で研究が終了した⑤については、具体的な事業化に向けて協議を進めているところです。

◆表1 平成18年度助成対象研究課題

	研究課題の内容	研究者氏名
①	機能性食品としてのユリの再評価と食用ユリの系統選抜・育種	龍治 英 教授
②	庄原市全域の農村観光資源に関するGIS型データベースの製作	前川俊清 助教授
③	庄原市森林の持続可能な経営確立に向けた制度的・技術的課題及びその適用方法の解明	宮本 誠 教授

◆表2 平成17年度助成対象研究課題

	研究課題の内容	研究者氏名
①	商品的に優れたりんご生産の研究。研究品種を活用したジャム製品の開発	近藤 悟 教授
②	家畜から排出される糞尿の悪臭の除去とメタン発酵の研究。低コストでの糞尿処理技術の開発	森永 力 教授
③	天然鉱物を利用した排水浄化装置を地元企業と共同開発。業務用から家庭用まで幅広い効果を想定	江頭直義 教授
④	庄原地域の農産物の機能性を研究。農産物や加工品の付加価値を高め、健康志向にマッチした庄原ブランドを創出	武藤徳男 教授
⑤	木炭ペレットを活用した発電装置や新たなエンジンシステムによる環境対応型バスの開発	早田保義 教授



4月に行われた中間報告会

地域の『夢』をカタチに

平成18年度自治振興区活動促進補助事業

28事業を採択

自治振興課 0824-731209

地域課題の解決や、地域づくり活動などを支援する「自治振興区活動補助事業」の平成18年度採択事業が決定しました。本年度は31自治振興区から、36事業の申請があり、審査会の審査を経て、次ページのとおり、28事業を決定しました。

採択事業

採択された事業は、それぞれ、地域課題の解決、そして、地域の今後の取り組みについて、住民の参画や、継続的な実施計画、そして、地域や住民への波及効果が見込まれるものとなっています。

昨年事業採択を受けられた地域は、更に発展させる事業展開を、また、今年度初めて申請された地域は、昨年一年かけて練り上げた地域振興計画をもとに、今年度、事

業計画を実践するということも、どの地域も、地域の活性化をどのように図るかを創意工夫したものとなっています。

この事業を通じて「自らの地域は自らが創る」を目標に、自治振興区が地域の課題解決・夢の実現に向けて、多様な事業を展開されることが期待されます。



審査会(西城会場)

審査会委員のメッセージ (敬称略)



池田 怜
(庄原市総合サービス(株)取締役)
市は、厳しい財政状況の中で地域浮揚に命運をかけています。自立できる市を目指し、全員で未来にチャレンジしましょう。



野原 建一
(県立広島大学地域連携センター長)
今回は昨年度を上回る申請があり、地域活性化へ取り組もうとする市民の熱意を感じました。この熱意が実現することを期待します。



前田 万里子
(田舎料理レストラン「りんご畑」)
地域づくりの意気込みが伝わってくる事業が多く見受けられました。多くの皆さんが参画して、知恵を出し合う。そして、とにかく何かチャレンジすることで、地域が輝いてくると思います。



黒木 英二
(県立広島大学生命環境学部生命科学科教授)
入念に作成された計画と、地域づくりに取り組む熱意、そして頼もしさを深く感じました。地域が一体となって、それぞれの課題や夢の実現に取り組まれることを強く望みます。

「地域づくり活動を紹介します」
平成17年度自治振興区関係事業活動報告集
～すべては、地域の『しあわせ!』のために。～

昨年度の自治振興区の活動をまとめた報告集「平成17年度 自治振興区関係事業活動報告集」を作成しました。内容は、ホームページで閲覧できますが、資料ご希望の方は、自治振興課へご連絡ください。

なお、お渡しする資料は、報告集の複写となります。あらかじめご了承ください。

採択事業 (単位:円)

地域	自治振興区名	事業名	補助決定額
庄原	敷信自治振興区	特産品開発プロジェクト「自然薯」・「自然薯」を自治振興区内で栽培し、特産品「敷信ブランド」として販売拡大を行う。	281,000
庄原	敷信自治振興区	花回廊づくり事業・地域内の道路沿道に、花や桜などを植栽し、住民の一体感の醸成と、訪れる人への「もてなし」の心を育む。	1,566,000
庄原	高自治振興区	目で見るふるさとガイド整備事業・高地域の歴史や史跡・名所を看板として設置し、地域情報を発信する。	772,000
庄原	北自治振興区	健康づくりの里整備事業・健康増進器具を整備し、定期的に健康づくり講座を開講する。また、空き施設を交流施設として整備する。	482,000
庄原	北自治振興区	天満区史編纂事業・住民の手で、地域の歴史を編集し、「天満区史」を発刊する。	705,000
庄原	東自治振興区	安全・安心な地域づくり事業・統一的なタスキ、ステッカーを整備し、自治会ごとに「地域安全見守り隊」の活動を行う。	231,000
庄原	東自治振興区	ふれあいコンサート実施事業・世代間交流「ふれあい祭り」の一環として、「広島交響楽団」を招聘し、音楽を通じた交流を進める。	160,000
西城	中野上自治振興区	桜公園整備事業・地域の憩いの場「桜公園」にあずま屋を建築し、地域内及び近郊との交流を図る拠点とする。	922,000
西城	中野1区自治振興区	しあわせ館裏山整備事業・しあわせ館裏山を憩いとの交流の場として、遊歩道・トイレを整備し、交流事業を推進する。	309,000
西城	今櫛会	今櫛ふるさと便事業・地域の農産物を「今櫛ふるさと便」として販売し、農産物生産活動を活性化させる。	1,118,000
西城	五町自治振興区	大富山城跡公園化事業・「大富山城跡」を地域全体の宝として、複数の自治振興区が共同で、遊歩道等の整備を行う。	2,646,000
東城	竹森自治振興区	非常時緊急連絡板設置事業・各世帯に緊急連絡板を配備し、緊急時に適切な対応ができるよう、地域内の安全対策を構築する。	169,000
東城	八幡自治振興区	伝統を継ぐ世代間交流広場整備事業・地域住民が交流できる広場を整備し、世代間交流や高齢者の生きがいづくり等を推進する。	917,000
東城	小奴可自治振興区	亀山城跡と一本桜周辺整備事業・亀山城跡及び「要害桜」周辺に遊歩道・植栽等の整備を行い、四季を通じた交流、憩いの場とする。	2,850,000
東城	帝釈自治振興区	特産品加工所整備事業・「特産品加工施設」の整備を行い、「餅」等を加工販売する。また、帝釈峡での販売等、地域での販売も推進する。	2,702,000
口和	向泉自治振興会	地域のへそ整備活動・「地域のへそ(中心)」である学校周辺を整備し、桜等の植栽により、憩いの場として利用する。	1,044,000
口和	本谷自治振興区	自然環境整備事業・地域内の河川を整備し、ゴミ・カワナナ等を放流、自然環境の保全を地域全体で取り組む。	249,000
口和	金田自治会	金田さくら公園21整備事業・地域内の公園に、桜の植栽、グランドゴルフコース等の整備を行い、地域内外の交流拠点とする。	2,739,000
口和	永田ふれあい振興会	いきいき永田・地域内に健康ウォーキングコースを設定し、中心となる公園にベンチ等の整備を行う。	939,000
口和	湯木釜峰振興会	湯木盆踊り推進事業・市無形文化財「湯木の盆踊り」の保存伝承を推進するため、扇子・太鼓等の整備を行う。	626,000
高野	下湯川自治振興区	下湯川生活環境整備事業(花きらり作戦)・国道433号の沿道に花を植え「花きらりロード」を展開し、地域の環境美化に努める。	172,000
高野	奥門田自治振興区	農産物出荷事業 ～高齢者の生きがいづくりと生産者の誇り～・地域の農産物・野菜を出荷販売する事業を、さらに拡大するために施設・設備を整備する。	452,000
高野	新市自治振興区	茶臼山全山公園整備事業・地域内にある「茶臼山」に遊歩道を整備し、区民の憩いの場、交流の拠点とする。	688,000
高野	南自治振興区	悠久の森整備事業・県天然記念物「大宮八幡神社へ通じる杉並木参道」に杉などを植栽し、「悠久の森」として整備する。	645,000
高野	岡大内自治振興区	カントリーウォーク整備事業・農村を楽しむ「カントリーウォーク」を地域内に設定し、地域住民の手で「マップづくり」を行う。	201,000
総領	五領自治振興区	イエロープロジェクト事業・地域で生産した特産品「菜種油」の商品開発・調査研究を行い、販売を拡大する。	300,000
総領	木屋自治振興区	「わざわざ木屋に来てもらう」事業・「木屋の小屋」周辺に「イチヨウ」「つづじ」の植栽・あずま屋等を整備し、交流入口の拡大を図る。	544,000
総領	下領家自治振興区	里山ハイキングコース整備事業・ハイキングコースに紫陽花や福寿草等を植栽し、節分草以外のシーズンにおいても集客を増やす。	300,000
合計			24,729,000



庄原市産直市連絡協議会発足 新規生産出荷者募集中!

庄原市産直市連絡協議会は、7月28日に設立総会を開催し、市内の産直市場が連携して、ともに売上の拡大や運営体制を向上させようと、市内全域の産直市場を対象に発足しました。

協議会に参加されている各産直市場では、市内の地産地消の推進や地域外への販売促進を目指して、新たに産直市場へ出荷いただけるグループ・団体や個人を募集しています。

「グループで産直市へ出荷したい」「自治振興区や集落で取組んでみたいんだが…」など、意欲や関心のある方々にぜひ参加いただき、ともに研修や情報交換で技術向上を図り、生産・販売の拡大と収入の増加を目指しましょう。連絡協議会では、本年度つぎの事業を計画しています。

●情報交換会の開催

定期的に協議会を開催し、情報交換を通して色々な課題に対して意見交換します。

●各種研修会の開催

新規就農者・生産出荷者の育成や商品化技術の向上など、売上拡大のための研修会を開催します。

●調査研究の実施

参考となる産直市場の視察調査や、県立大学との共同研究により、生産・販売技術の向上と運営体制の強化を図ります。



庄原市エゴマ生産普及協議会 発足会員募集中!

近年、健康食品として一躍脚光を浴びているエゴマを庄原市内でも生産拡大し普及させようと、7月25日に庄原市エゴマ生産普及協議会を設立しました。自治振興区や集落で、転作田を活用して栽培するなど、農地の有効利用策のひとつとしても期待できる作物です。

今後、エゴマについての研究や栽培技術の向上を目指した事業を中心に活動しますので、ぜひご参加ください。

■問い合わせ

庄原市産直市連絡協議会事務局及び庄原市エゴマ生産普及協議会事務局へお気軽にご連絡ください。

●事務局

庄原市地域振興部付(庄原市役所企画課内)
〒727-8501 庄原市中本町1丁目10番1号
☎0824-73-1210 FAX0824-72-3322

耕作放棄地をなくしましょう。

農業委員会 ☎0824-73-1133

農業委員会では、6月下旬に農地パトロールを実施しました。高齢化、後継者不足といった社会的背景の中で、耕作放棄地の増加が懸念されています。

農地は、食糧生産機能は勿論のこと、自然環境の維持・保全など、生きていくために必要不可欠な多面的な機能を兼ね備え、農家だけでなく地域全体にとって貴重な財産です。

耕作できないときは、簡単な手続きで安心な農地の貸し借りの制度があります。まず、地元の農業委員へお気軽にご相談ください。



一体的な農林業振興を目指して

株式会社庄原市農林振興公社を設立

企画課政策企画係 ☎0824-73-1114

市の基幹産業である農業は、過疎化・少子高齢化により、農業従事者の高齢化や後継者不足など生産構造の脆弱化が進行し、加えて、農産物価格の低迷がその動きに拍車を掛け、農業収入が減少し耕作放棄地が増大するなど、厳しい環境にさらされています。

市では、こういった状況を打開し、新市の一体的な農林業振興を目指すため、市全額出資の「株式会社庄原市農林振興公社」を8月1日に設立しました。

多角的・機動的な事業展開

株式会社庄原市農林振興公社の設立に伴い、これまで農業振興に取り組んできた財団法人庄原市農林業公社(旧比和町農林業公社)、有限会社東城町農林業公社は、それぞれ年度内に解散し、その業務を新会社へ承継することになっています。

業務を承継する新会社は、市全額出資で設立する株式会社であり、収益事業が制約され、基本財産の運用益で運営されるのが原則である財団法人に比べると、時代の変化に対応した多角的・機動的な事業展開を図ることが可能となります。

これにより、従来の農家支援事業を充実・拡大していくことができると考えられます。

新たな取り組みで農家支援

新会社では、農作業や草刈の受委託など旧公社から承継した業務に加え、野菜などの農林産物の販売経路拡大、広島市内での野菜直販事業など、新たな取り組みによる農家支援も行う予定です。

設立初年度となる今年度は、体制整備など会社本体の基盤づくりを行いながら、来年度から実施する農作業受委託や農林産物販売事業を中心に、全市域を対象とした農林業振興事業を展開するための諸準備を行います。

また、株式会社ひば西城まちづくり公社の解散と業務統合、株式会社里山総領の農林業分野の業務統合についても現在検討しており、全市の一体的な農林業振興をより一層推進することとしています。

庄原市農林振興公社データ 本店/庄原市比和町木屋原171番地1 資本金/5,000万円

平成18年度庄原市 戦没者追悼式 並びに平和祈念式典

とき 8月23日(水)10時～

ところ 市民会館大ホール

※当日は要約筆記による案内、各支所からの送迎バスをご用意しています。また、e-しょうばらネットでの中継も行いますので、各学校、公民館などで式典をご覧いただけます。

本市の戦没者に哀悼の意を表すとともに、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう恒久平和を祈念するため、庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典を開催します。多くの参加をお願いします。

問い合わせ

社会福祉課	高齢者福祉係	☎0824-73-1165
西城支所	保健福祉課	☎0824-82-2202
東城支所	保健福祉課	☎08477-2-5131
口和支所	保健福祉課	☎0824-87-2114
高野支所	保健福祉課	☎0824-86-2114
比和支所	市民生活課	☎0824-85-3002
総領支所	市民生活課	☎0824-88-3110

各地域の生活交通を見直します

市民生活課生活安全係

☎ 0824-73-1154

合併前の旧市町時代から、それぞれの地域では、独自に地域生活バス・福祉バスなどを運行し、駅やバス路線から遠く離れた地域に住む方の生活交通を確保してきました。

しかし、それぞれの地域ごとに利用条件が異なっているほか、これらのバスなどを維持するために、多額の経費がかかっています。

このため、つぎの見直しを行うことにしました。

- ① 運賃を距離に応じた「統一運賃」にする
- ② 一部の地域で運行している無料の医療・福祉バスなどを廃止し、誰でも利用できる有料のバスなどに変更する
- ③ 利用率の低い路線については、ダイヤやルート、便数、運行形態などを見直し、効率的な運行を検討する

高齢化が進む庄原市では、生活交通の必要性はますます高くなると予想され、限られた予算の中で、これをどう確保していくかが大きな課題となっています。

市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

※統一運賃への改定及び無料バスの有料化は、平成18年10月を予定しています。また、運賃以外の見直しについては、決まり次第お知らせします。



運賃を有料化または変更するバスなど

地域	バスなど	現行運賃
庄原	地域生活バス	100円～300円
西城	西城交通バス	150円～400円
口和	地域生活バス	200円(定額)
	患者輸送車	無料
高野	福祉バス	無料
比和	市営比和巡回バス	100円～200円
総領	福祉生活バス(ほっとふれあいバス)	無料

改定後

統一運賃

乗車距離	新運賃
0.0Km～ 1.9Km	100円
2.0Km～ 9.9Km	200円
10.0Km～19.9Km	300円
20.0Km～24.9Km	400円

※東城地域の地域生活バスは、統一運賃で運行しています

庄原市の市の花、市の木を制定しました

庄原市の新しいシンボルとして、市民の皆さんからご推薦いただきました「市の花」「市の木」を参考として、本市のイメージにふさわしく、知名度があり、なじみ深く親しみやすいものを「庄原市市の花市の木選定委員会」で選考し、8月1日に制定しました。



市の花「サクラ」

庄原市内の随所に植えられるなど、古くから多くの市民になじみ親しまれています。これからも市民みんなで大切に育てていきたいという気持ちを込めて選定しました。



市の木「ブナ」

庄原市内を流れる西城川の水源でもある中国山地に豊かなブナの純林を形成し、全国有数の天然記念物として大切にされています。庄原市の雄大で懐深い自然の象徴として選定しました。

安心&安全な毎日のために 防災編

防災の日・防災週間

9月1日は「防災の日」、また8月30日から9月5日は「防災週間」です。

大正12年9月1日に発生した関東大震災の教訓を忘れない、という意味と、この時期に多い台風への心構えの意味も含めて昭和35年に制定されました。(暦の上では立春から数えて二百十日目を特に「二百十日」と呼びます。ちょうど稲の開花期に台風が来たり、強風が吹き荒れたりすることに注意を促したと言えます。)

地震や風水害からわが身を守り、被害を最小限に抑えるために、一人ひとりが災害時に適切な行動がとれるよう、日頃から心構えと備えを万全にしておきましょう。



地震・風水害などの災害に備えて

- ★地区で決まっっている避難場所の確認をしておきましょう。
- ★家屋の補強をしておきましょう。
- ★家具などの転倒、落下防止をしておきましょう。
- ★窓ガラスには、飛散防止フィルムなどを張っておきましょう。
- ★ブロック塀や看板などが、落下転倒しないように補強をしておきましょう。
- ★非常持出品の準備をしておきましょう。
- ★停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオを準備しておきましょう。
- ★断水に備えて飲料水を確保しておきましょう。
- ★いざという時の家族の行動待合せ場所、安否を知らせる方法などについて日頃からよく話し合っておきましょう。

防災編

- ★台風や雨・風に関する気象情報を注意深く聞きましょう。
- ★方が一に備えて、早めに自主避難をしましょう。
- ★防火教室や救命講習などに積極的に参加して、非常時の防災行動力と知識を身につけましょう。

お知らせ

防火教室や救命講習などのご要望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

- 庄原消防署 0824-72-9911
- 庄原消防署西城出張所 0824-82-2193
- 庄原消防署高野出張所 0824-86-2955
- 三次消防署口和出張所 0824-87-2455
- 三次消防署甲奴出張所 0847-67-2282
- 東城消防署 08477-2-4005

救急救命士が行う 病院実習へのお願い

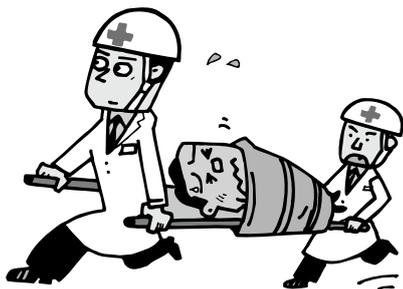
備北地区消防広域行政組合消防本部警防課救急救助係
0824-63-1191

救急救命士は、医師の指示のもと、病院へ搬送中の傷病者に対して、気道確保など心拍の回復のための救命処置を行います。

平成16年7月に、気管チューブを用いた気道確保「気管挿管」、平成18年4月には、心拍再開に有効な薬剤「エピネフリン」投与が認められました。

これらの処置は、厚生労働省が示す一定の実施基準に沿った講習と医療機関での実習を修了した救急救命士に限り実施することができ

ます。このため、市立三次中央病院、総合病院庄原赤十字病院で医師の指導のもと事前に病院





職場体験を経ての意識の変化

平成17年に、庄原市中学校キャリア教育推進委員会が行った意識調査によると、職場体験を行う前と行った後では、生徒の意識に変化が見られます。

■生徒の意識調査より

	事前	事後
家族が自分のことを分かってくれている 「はい」と回答	75%	85%
自分には良いところがある 「はい」と回答	65%	75%
学級の中で自分の夢が語れる 「はい」と回答	40%	75%

■職場体験アンケートより

「あなたが職業を選ぶとき、何を重視して選ぶようになりますか」

	事前	事後
●自分の能力が生かせる	30%	45%
●自分の性格や興味に合っている	40%	45%
●仕事にやりがいがある	25%	40%
●収入、給料が高い	50%	40%

生徒の声

衣料品店の体験者

職場の方の仕事ぶりを拝見し、笑顔で挨拶されているところを見習いたいと思いました。職場体験に行く前は、挨拶なんて楽だろうと思っていました。しかし、やってみるととても難しく、笑顔で言わなければならないことが大変でした。

職場体験で学んだことは、これからの生活の中で活かしていきたいと思います。

食料品店の体験者

今回の職場体験を通して一番大切だと感じたことは、やはり挨拶をすることです。お店では人と接することが多いので、強く感じました。職場の方にも、挨拶を忘れず、きつく注意されました。これからは、学校でも自分から挨拶をするように心がけます。

美容院の体験者

職場体験学習を通して私が感じたことは、仕事はとても大変だということです。楽ではないことが分かって、大人はがんばっているんだと思いました。言葉遣いも気をつけないといけないので、働くって本当にすごいことなんだと思いました。

保護者の声

家庭では経験できないことをたくさん経験し、本人も何か感じたと思います。家庭では見つけれなかった自分の一面を本人が見つけたようです。事業所の方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

事業者の声

衣料品店

店内でのきれいな仕事の裏には、表には見えないつらい作業があることを経験していただきました。しかし、前向きな生徒さんと一緒に仕事できたことは、私たち社員にも良い経験になりました。

生徒さんが心から体験を望んでいれば、受け入れる側も負担にならないものだと感じました。

食料品店

とてもよい体験学習だと感じています。この時期に体験しながら学ぶということは大きな意義があります。しっかり吸収していただき、感性を磨き、社会の中で生きる力を高めてほしいと思います。これからは積極的に取り組んでいただき、人間力の向上を願っています。

サービス業

生徒さんには、挨拶の徹底を指導したが、日常的にできるよう期待したい。今回3人を受け入れましたが、体を使う作業ではグラリとした面も見受けられました。粘りがほしい。希望してきた職場であれば、もう少しやる気を出すことや、心をこめた対応もできたと思います。

なぜ職場体験が求められるのか

今、子どもたちは、将来に向けて、なぜ学ぶ必要があるのか、なぜ学び続けなければならないのか、なぜ学び続ける必要があるのか、何のために学校で学ぶのかなど、学ぶことへの関心や意欲が低下しているといわれています。

こうした課題の背景として、子どもたちの生活の中で、テレビゲームやメールなどの「疑似体験」・「間接体験」が多くなる一方、社会体験や自然体験などの「直接体験」が著しく不足していることが大きく影響

している指摘されています。子どもたちが、児童生徒から社会人へと成長していく過程で、自分自身の将来に夢や希望を抱き、夢の実現を目指す意欲を高めるための教育活動として、「望ましい勤労観・職業観を育む『職場』体験活動」が求められています。



りんご園で摘果作業

働くことへの意欲・関心を高める中学校職場体験学習

教育指導課教育指導係 ☎0824-73-1184

変化の激しい社会の中で、子どもたちが社会人・職業人として自立するために必要な、意欲や態度、能力を身につけるため、庄原市内の中学校では5日間の職場体験を実施しています。

今年も市内の事業所のご協力を得て、中学生がさまざまな経験を積んでいます。

学校名	実施日	受け入れ事業所数
庄原中学校	6月19日～6月23日	91
西城中学校	9月25日～9月29日	依頼中
小奴可中学校	※5月31日～6月2日	7
東城中学校	6月19日～6月23日	32
口和中学校	※7月12日～7月13日	7
高野中学校	※6月14日～6月16日	10
比和中学校	※6月21日～6月23日	5
総領中学校	8月3日～8月9日	13

※印の4校は1、2学期に分割して実施



市の台所事情

予算(一般財源)の3割を占める借金返済額

今月は、歳出の特徴についてお知らせします。

財政課財政係 80824-73-1129

借金のしかかる公債費(借金返済額)

平成17年3月31日、増大する広域的な行政需要に対処し、効率的で効果的な行政運営を行い、力をあわせて極めて厳

しい財政状況を乗り切るため、最大の行政改革である1市6町の合併を行いました。それに伴い、新市建設計画を策定し、新市建設の基本方針を定め、計画に沿った各種事業の実施を行っています。道路や公共施設などの整備を行う普通建設事業費は合併前に比べ大幅

に減少していますが、市の借金である地方債の元金及び利子の支払いに要する経費である公債費は、地方債の償還年数が長いうえ、新たな借入れも行うため、減少しませんが、特定目的のため国から交付される国庫支出金や、地方債などは特定財源といい、それぞれの目的のために使わなければならない。それに対し、地方交付税や市税などは一般財源といい、市が自由に使うことができるお金ですが、そ

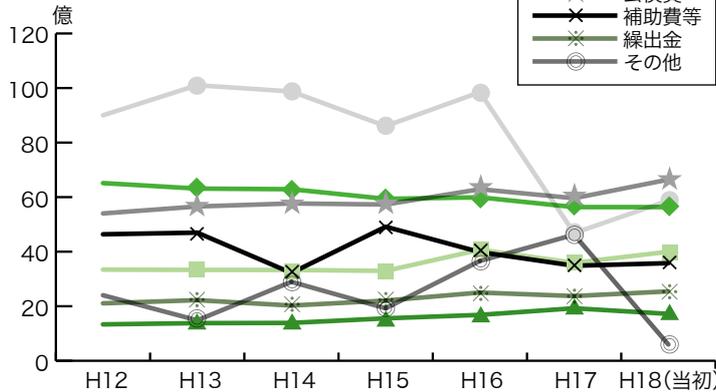
の最も大きな消費先は、借金の返済にあてる費用である公債費で、市の財政を圧迫しています。

地方債(借金)残高の減額へ

市の借金である地方債残高は、年々増加しています。平成17年度では、普通会計ベースで559.2億円となります。これを平成17年3月31日現在の庄原市の人口43,591人で割り、住民一人あたりの借金の額を計算すると、128.

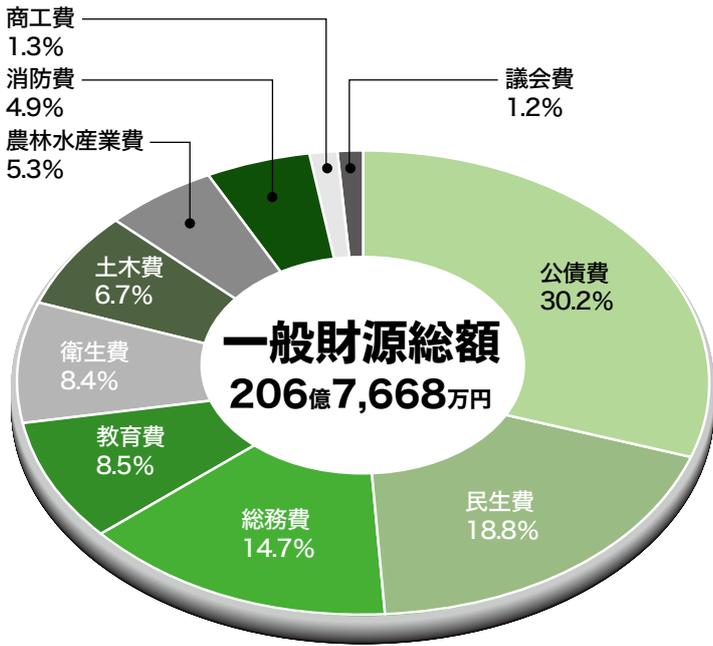
3万円におよびます。地方債残高が増え続けたのは、地方債発行額(借金)が、元金の返済額(公債費)を上回っていたことによります。また、平成17年度は、合併にかかる特殊要因として地域振興基金(貯金)35億円を造成するための借入(33.3億円)によって増加しました。普通建設事業に要する経費をさらに抑制し、計画

歳出の推移(普通会計)

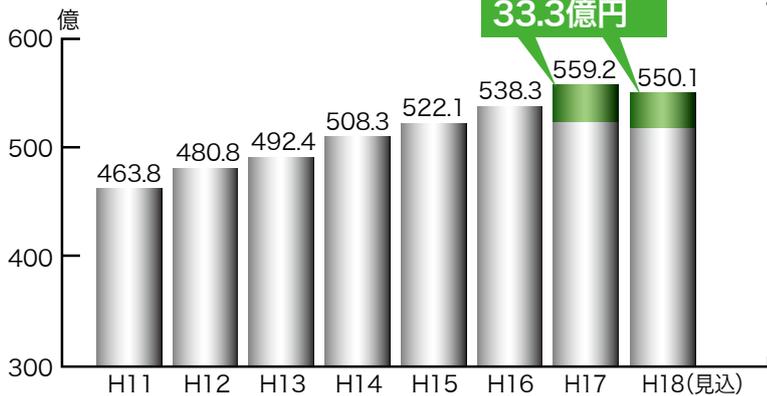


- 人件費: 職員の給料など
- 物件費: 業務委託料、光熱水費、備品購入費など
- 普通建設事業費: 道路、学校、公営住宅などの工事費など
- 扶助費: 社会保障制度の一環として、児童や老人及び生活困窮者等を援助するための経費
- 公債費: 市の借金返済に要する経費
- 補助費等: 各種団体への補助金、負担金など
- 繰出金: 一般会計から公共下水道事業特別会計などの特別会計に支出される経費

平成18年度当初予算(一般会計)一般財源の構成



地方債残高の推移(普通会計)



胃^{がん}癌の最近の治療法

日本における死亡率の推移を見ると、癌による死亡率は昭和56年より死亡率の第1位を占め、平成16年には全死亡の31・1%を占めるようになってきています。胃癌の死亡率は以前は日本人の癌死亡率の第1位を占めていましたが、検診の普及により若干減少しました。それでも2003年には男女共に全癌死亡の2位と高率の死亡率となつています。あの王監督も胃癌になってしまいました。

他の肺癌・乳癌・大腸癌といった癌は欧米において罹患率が高いため、手術治療・抗癌剤治療が研究開発され、最も有効な治療が提示され(特に乳癌において顕著です)、日本においても導入されています。

しかし、胃癌については欧米での罹患率が低く、日本の手術・治療が現在世界最高水準というところになっていきます。検診の発達もあり、早期の胃癌の罹患率があつても多く、治療は手術による切除が現在のところ最

も有効な治療です。早期の胃癌であれば、92〜95%の5年生存率が期待できます。

最近では早期の胃癌にはいろいろな手術が行われています。極早期の胃癌であれば、胃カメラで切除も可能になってきています。手術跡も術後の後遺症も残さない治療です。再発率を増加させることなく自律神経を温存して術後の消化管機能の保存や胆石の発症をおさえる手術がされたり、幽門温存をして術後の体重減少を少なくしようとする手術が普及してきています。あの王監督のした腹腔鏡手術もあります。また、胃部分切除にくわえてセンチネルリンパ節生検といった極少数のリンパ節のみ術中検査してリンパ節の切除をひかえる縮小手術の研究もされています。

一方、手術治療の限界も徐々に明らかになり、進行癌やある種の胃癌、再発胃癌では手術治療のみでは再発を抑えられな

いといったことも分かってきました。そのような場合にはやはり抗癌剤治療ということになります。以前は胃癌の抗癌剤の奏効率は20%程度しかなく抗癌剤の効きにくい癌ということになっていました。近年になって、S-1、パクリタキセル、ドセタキセル、イリノテカ

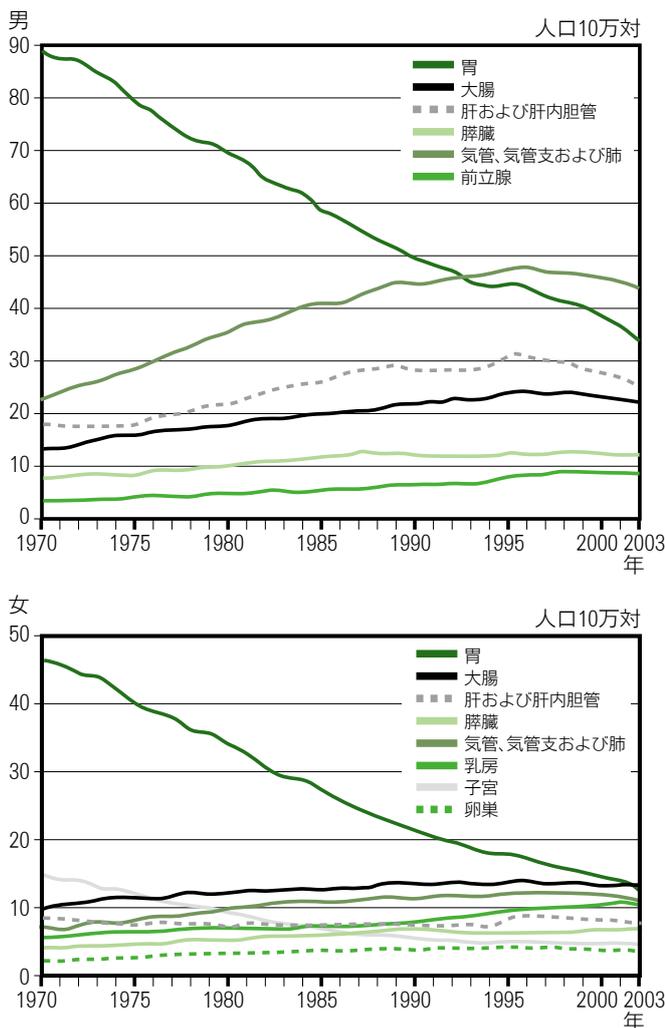
ンといった新規抗癌剤が開発されて、従来の抗癌剤との組み合わせで奏効率50%というところまで抗癌剤治療が有効となってきました。その結果、切除不能だった胃癌に術前に抗癌剤治療を行って手術が可能になったり、再発した胃癌が小さくなって切除できたり、再

発しても以前より長生きできるようになってきました。しかし癌を完全に抗癌剤だけで治すことはまだ難しく、今後の研究によるところが大きいのです。日本では胃癌検診が発達しています。現在都市圏では50%以上が早期胃癌で発見されています。胃癌になつても治すにはやはり少しでも早い時期に見つけて確実な切除をするこ

庄原赤十字病院
外科部長
佐々木 寛



がんの主要部位別・年次別・性別・年齢調整死亡率 (昭和45年～平成15年)



ぐるりしよーばら カメラレポート

頼杏坪の崇高な精神を学ぶ 文化講演会「頼杏坪と庄原」



庄原市文化協会が6月24日、庄原市ふれあいセンターで文化講演会を開催され、東城町出身の作家、藤井登美子さんが「頼杏坪と庄原-杏坪柿に託された民衆への想い」をテーマに講演しました。

この講演会に約70人が参加。頼杏坪は儒学者頼山陽の叔父で、江戸時代後期に三次町奉行として、県北4つの郡を統括し、終生を民衆のために尽くしました。

藤井さんは、少子高齢化や財政難など、頼杏坪が生きていた時代との共通した問題点に触れながら、敬老会の開催や農民救済、飢饉対策などのエピソードを紹介。頼杏坪の生涯現役・生涯学習の姿勢など崇高な精神を学びました。



合併1周年を祝って庄原市の魅力を全国に発信 NHKラジオ「ふるさと自慢うた自慢」

庄原市合併1周年を記念して、NHKラジオ第1放送の人気番組「ふるさと自慢うた自慢」の公開録音を6月23日、庄原市民会館で行いました。

番組では、歌手の大川栄策さんと柏原芳恵さんの2人をリーダーに、地元出演者6人が男女のグループに分かれ、「ふるさと自慢」や「のど自慢」を行い、庄原市の魅力を全国に発信しました。出演者は、またげ・りんご・帝釈峡・ヒバゴン・雪合戦大会・よいとこ祭をPR。また、歌謡ステージ「ふるさと自慢コンサート」も行われました。

庄原よいとこ音頭の歌手である大川栄策さんは「よいとこ音頭を録音した翌年、さざんかの宿が大ヒットした。庄原は縁起のいいまち、また柏原芳恵さんは「庄原にはすばらしい自然やおいしい食べ物があり、また遊びに来たい」と話していました。

「ふるさと自慢うた自慢」は8月13日、「ふるさと自慢コンサート」は8月20日、ともに19時20分～20時10分に放送される予定です。



柏原芳恵さんが果汁100%リンゴジュースを絶賛

囲碁文化を通して交流を図る 第2回庄原市合併記念親善囲碁大会



第2回庄原市合併記念親善囲碁大会(同実行委員会主催)が6月18日、庄原市ふれあいセンターで開催され、市内各地域から34チーム102人の愛好者が熱戦を繰り広げました。

この大会は、囲碁文化を通して合併した各地域の交流と親睦を図ろうと昨年から行われています。

6段から5級までの幅広い参加者が地域単位でチームを編成。競技は1チーム3人の団体戦で、各チームがそれぞれ4回対局して、その勝ち点で順位を決めました。結果は比和Bチームが優勝し、参加者は「来年もお会いしましょう」と再戦を誓い合いました。

雨の中、有事に備え放水訓練 庄原市消防団比和方面隊が夏期教養訓練



庄原市消防団比和方面隊の夏期教養訓練が6月25日、比和中学校体育館などで実施されました。

この訓練は、本格的な梅雨や夏の登山シーズンなどを控えたこの季節に、消防団員の技術向上や防災意識の醸成を目的に毎年行われています。今年も号令により団体行動を行う訓練「集合整理整頓要領」などのほかに、分団ごとに放水技術を競う「放水訓練」

を行いました。この放水訓練は、「とっくり出し」とも呼ばれ、ドラム缶めがけて放水し、ドラム缶に入れた3リットル缶をいかに早く外へ放出するかを競いました。

庄原市消防団では、夏期教養訓練を方面隊や分団ごとに9月上旬まで行われます。

JTサンダーズが庄原で指導 庄原青年会議所がバレーボール教室



宮下選手からトスを学ぶ

一流のスポーツ選手を招き、子どもたちの育成と交流を図ろうと、庄原青年会議所が6月24日、庄原市総合体育館でJTサンダーズバレーボール教室を開催されました。

市内の少年・少女バレーボールチームから109人が参加し、Vリーグで活躍するJTサンダーズの選手6人がさまざまな練習方法を通して、オーバーパスやアンダーパスなどの基礎を指導しました。

子どもたちは身長190cmを超える選手の大きさや技術の高さに驚きながら、「憧れのJT選手と一緒に練習が出来たのがうれしかった」と、基礎練習や交流試合を楽しみました。

企画した平井栄光さんは「子どもたちにとって、一流の選手とのふれあいは一生の思い出となる。これがきっかけとなって、庄原市のバレーボールが盛り上がってほしい」と話していました。

蛍のイルミネーション

大屋自治振興区今櫛会ほたる見会

6月27日、西城町大屋地区で「ほたる見会」が行われ、大屋自治振興区今櫛会の住民と西城小学校の児童約80人が参加しました。

午後8時に大屋多目的集会所に集合し、絵本「蛍の星」の読み聞かせの後、みんなで大屋川の支流へ。水田から湧き立つ蛍、川面に照り映える灯、山まで続く蛍のイルミネーションに、歓声が起こっていました。

大屋地区で蛍を育てる取り組みは、10年前、大屋小学校で、自然環境を大切にする学習の一環として始まりました。大屋小学校は一昨年休校となりましたが、自治振興区活動として広がり、西城地域でも有数の蛍の名所となっています。大屋自治振興区今櫛会会長の國上美明さんは「年に一度のほたる見会を楽しみに、草刈など散策道の整備も行っている。農薬の量を減らす。家庭用洗剤の使用に気をつける。カワニナをとり過ぎないなど、みんなで協力し合い、10年かけて蛍が帰ってきた。蛍は地域の自然環境の良さを示すバロメーター。これからもみんなが安心して安全に暮らせる美しいふるさとを守っていきたい」と話していました。



絵本「蛍の星」の読み聞かせ

トップアスリートが集う夏 道後山高原クロカンパークで強化合宿

今年も夏とともに、道後山高原クロカンパークにスポーツ合宿の季節が到来し、多くの競技者でにぎわっています。

クロカンパークは、西城町三坂地区、国定公園道後山の麓に広がる58ヘクタールの総合運動公園。高低差15mの天然芝のクロスカントリーコースや400mトラックなど高水準の施設を備えており、豊かな自然と夏も冷涼な高原の気候といった、スポーツトレーニングのための理想的な環境を求めて、年間37,000人が利用しています。



トレーニング中の実業団中国電力チーム

これまで世界で活躍する多くのトップアスリートがクロカンパークで強化合宿を行ってきました。今年4月に福岡で開催された世界クロスカントリー大会の強化合宿地として使用されたほか、平成19年に大阪で開催される世界陸上大会の直前合宿地として候補地に挙げられています。

現在、土のトラック8レーンのうち3レーンを全天候型の舗装トラックとして改修整備中です。完成すれば、各団体の合宿において、短距離と中・長距離の合同練習ができるようになることから、クロカンパークが世界のスポーツの発展に一層貢献することが期待されます。

電動カーと自転車運転のマナーを学ぶ 交通安全体験講習会

7月11日～20日に実施された『広島県夏の交通安全運動』を推進するため、庄原北公園で7月9日、交通安全体験講習会が開催されました。

子どもから高齢者まで約80人が参加。運動の柱である「高齢者の交通事故防止」「自転車利用者の交通事故防止」の2点に重点を置き、電動カーと自転車に関する講習が行われ、傘や携帯電話を持って自転車を運転することの危険性などを指導しました。



「住宅デー」で保育所施設を修繕 建築職人が地域で奉仕活動

建築に携わる方々で構成される広島県建築センター協会庄原支部が6月25日、「住宅デー」で高保育所と永末保育所の施設を修繕されました。

この「住宅デー」は、地元の建築職人が地域に奉仕する日として、庄原支部では、毎年市内の保育所で奉仕活動を行っています。

今年は、高保育所でひさしの増設やストーブガードの製作、倉庫の修理など、また永末保育所では、砂場の日よけ設置や建具の改修などを行いました。作業を見つめる保育士は「下見から段取りを含め、手際がいい」と職人技に感心し、「子どもたちも、きれいに修繕された保育所で元気に過ごせる」と喜んでいました。

このような建築職人による地域の奉仕活動が、市内各地域で行われました。

親子で水とトモダチになろう ベビースイミングin水夢

6月28日、西城温水プール水夢で、「ベビースイミング」が開催されました。西城保健福祉総合センターしあわせ館を拠点に活動している子育て応援サークル「スマイルトーク」が、三次市のインストラクター上本和也さんを講師に招いて5年前から実施しています。

この日は、生後4ヵ月から2歳までの子どもとその保護者、9組18人が参加しました。最初は不安げな表情を浮かべていた子どもたちでしたが、スキンシップを大切に親と一緒に無理なく自然な形で水に入れるプログラムを進めていくうち、最後には自分から水に飛び込めるようになった子どももいました。

参加者は、「子どもが嬉しそうだったのでよかった。私もよい運動になり、また一緒に来たい」と喜んでいました。このベビースイミングは、今後9月まで計5回開催されます。

西城温水プール水夢は25mプールのほかにフィットネススタジオ、トレーニングジムなどの施設が整い、水泳教室やエアロビクス教室、高齢者のトレーニングや病院との連携によるリハビリの利用など、市民の皆さんの健康づくりに役立つさまざまなメニューが用意されています。



～梅雨空の下での熱戦～ 第38回高野地区職域ソフトボール大会

7月9日、旧高野町時代からの伝統ある「職域ソフトボール大会」が、高野スポーツ広場を主会場に開催されました。

第38回を数える今大会は、高野地区の企業や各種団体など10チームが熱戦を繰り広げました。選手は日頃の練習の成果を発揮し、華麗なプレーのほか、珍プレーや迷プレーも続出する中で、各チームの応援団も盛んに声援を送っていました。

日頃話す機会が少ない選手や応援団も、試合の合間のひと時に談笑する光景が、グラウンド内で多く見受けられ、参加者のふれあう姿が微笑ましい大会となりました。トーナメント方式による試合の結果、「藤元建設B」チームが優勝しました。



音楽で楽しく子育て♪

小奴可保育所が「にこにこ音楽会」

6月20日、小奴可保育所子育て支援センターが「にこにこ音楽会」を開催されました。

演奏者3人を広島市から招き、近隣地域の保育所、育児サークル、子育て家庭の親子約100人が参加。トロンボーン・フルート・ピアノの演奏に合わせ、「それいけ・アンパンマン」や「かえるのうた」など、子どもたちに人気の曲を元気よく歌いました。また、トロンボーンを使ってのパフォーマンスに、子どもたちは大喜び。「まだしてー」のアンコールや拍手で会場は盛り上がり、楽しいひと時を過ごしました。

小奴可保育所子育て支援センター「にこにこ広場」では、子育てが楽しくできるように育児相談や育児講座、育児サークル活動などの支援を行っています。



古い木造校舎でバイオリン演奏を楽しむ

上野眞樹バイオリンコンサート

6月3日、口和郷土資料館で、「上野眞樹バイオリンコンサート」が行われました。

上野さんは、東京生まれで、東京芸術大学、ドイツ・ハノーバー国立音楽大学ソリスト・コース卒業後、25年間ドイツ各地や広島交響楽団のコンサートマスターを務め、世界30カ国でも演奏されています。

県北で初めての演奏会に、地元をはじめ広島市などから110人が来場。上野さんの楽しいトークを交えモーツァルトなどのクラシックや中国地方の子守歌など、生のバイオリン演奏を堪能しました。

演奏者の上野さんをはじめ来場者は「古い木造の元校舎の音の響きと雰囲気、がすばらしかった」と話していました。



目の前でバイオリン演奏を楽しむ

事業所で汗を流し将来の生き方を考える

東城の中学2年生が職場体験学習



自分たちの住んでいる地域の職場で、職業に対する理解を深め、将来の夢や生き方について考えようと、小奴可中学校と東城中学校の2年生77人が、5月から6月にかけて東城町内の38事業所で職場体験学習を行いました。

生徒は、あいさつや言葉遣いなどのマナーや、各事業所の仕事内容などを事前学習し、りんごの摘果作業・牛の世話・保育体験・販売・棚卸し作業などに汗を流しました。

東城保育所を訪れた生徒は「おねえちゃんと言って子どもが駆け寄ってきてくれたらうれしかったけど、泣かれるとどうしていいかわからなかった。子どもが好きなので将来は保育士になりたい」と話していました。

東城町の自然や歴史を学ぶ

東城の小学校が「いきいき体験学習」



6月7日・8日の両日、東城町の自然や歴史を学び、児童の交流を深めようと、東城町内6小学校の5・6年生99人が「東城町いきいき体験学習」を行いました。(内堀・八幡・東城小学校は5年生のみ)

初日は、たたら製鉄が盛んだった内堀地区で、木炭生産組合の指導を受けながら炭焼きを体験したり、内堀の神代垣内落鉄穴跡を見学したりしました。また、町中心部を一望できる千手寺では、城下町だった町並みを見渡しながら、東城の歴史を学習しました。

2日目は、国定公園帝釈峡で、野鳥観察や白雲洞・雄橋などを学習するフィールドワークを行いました。

参加した児童は「ぼくたちが住んでいる町なのに、知らないことがたくさんある。野鳥観察も楽しかった」と話していました。

大兼池であじさいを観賞

大戸自治振興区がお花見会



西城町大戸地区大兼池のあじさいが見頃を迎えた7月9日、大戸自治振興区のお花見会が行われました。

大兼池は周囲800mほどの農業用溜池ですが、豊かな森林に囲まれ、真夏でも豊かな水を湛えた池の周囲には700株のあじさいが植えられ、散策道やあずま屋も整備されています。ほ場整備をきっかけに、平成3年頃から

数人の有志が始めたあじさいの植樹が自治振興区活動として根付き、現在では毎年100株程度を植樹、春と秋に草刈作業を行っています。

お花見会には、大戸地区の住民約40人が参加し、作業の労をねぎらいながら、美しく色づいたあじさいと水辺の風景を鑑賞し、楽しいひと時を過ごしました。

あじさい部長の山脇さんは、「昨年末の大雪であじさいや樹木にも被害があったが、みんなで復旧、整理の作業をした甲斐あって、今年もきれいな風景を見ることができた。大兼池は、大戸地区のみんながいっしょに楽しめる手づくりの公園。遠くから大兼池を訪ねる人が増えているのもうれしい」と話していました。

七夕飾りや仮装劇を楽しむ

総領保育所が七夕まつり

総領保育所の七夕まつりが、7月1日に行われました。

年長組21人の七夕にまつわる劇や園児全員の元気いっぱいな踊りが行われ、園児が準備した七夕飾りやお願いの短冊を家族と一緒に大きな笹に飾り付けました。また、毎年恒例となっている保護者会役員による仮装劇が行われ、友達を思いやることの大切さをメッセージとして伝え、総領保育所の園児たちは夏のひと時を家族と楽しみました。



保護者会劇出演者と子どもたち



身体障害者定期相談(判定)会

「聴覚」8月17日(木) 受付は13時~14時 ところ 備北地域事務所第3庁舎2階 ※1週間前までに社会福祉課生活福祉係(☎0824-73-1166)へ予約してください。

人権相談(特設)

各地域で人権擁護委員が相談に応じます。

- 庄原地域 とき 8月22日(火)、9月12日(火)13時30分~16時30分 ところ ふれあいセンター
●東城地域 とき 9月7日(木) 13時30分~16時30分 ところ 東城町老人福祉センター
●西城地域 とき 9月7日(木) 13時30分~16時30分

- ところ 西城公民館
●高野地域 とき 8月24日(木) 13時~16時 ところ 高野支所
●比和地域 とき 8月17日(木) 13時30分~16時30分 ところ 比和文化会館
●総領地域 とき 9月11日(月) 9時~12時 ところ 総領健康福祉センター

社会保険 一日相談

年金を中心とした社会保険全般の相談を受けます。
●庄原地域 とき 9月12日(火) 10時~12時・13時~15時 ところ JA庄原東城支店
●東城地域 とき 8月16日(水) 10時~12時・13時~15時 ところ JA庄原東城支店
●西城地域 とき 9月7日(木) 10時~12時・13時~15時 ところ JA庄原東城支店

消費生活相談

買い物や契約でのトラブル、おかしいな、困ったなと思つたことなど、消費生活に関する苦情・相談について、専門の消費生活相談員が相談を受けます。お気軽にご相談ください。

- ところ 市民生活課生活安全係 全係内消費生活相談コーナー
とき 毎週水曜日(祝日、12月28日から1月3日を除く) 9時~12時 13時~16時 ※水曜日以外は生活安全係職員が対応します
問い合わせ 消費生活相談コーナー ☎0824-73-1228 (ファックス兼用)
市民生活課生活安全係 ☎0824-73-1154

定期巡回児童相談

備北こども家庭センターが子育てに関する相談に応じます。
●庄原地域 とき 8月18日(毎月第3金曜日)10時~15時 ところ 庄原市老人福祉センター
●東城地域 とき 8月25日(毎月第3金曜日)10時~15時 ところ 東城町公民館

電話相談

広島法務局と広島県人権擁護委員連合会では、「いじめ」問題など、子どもたちが発する信号をいち早くキャッチし、その解決に導くための専用電話相談「子どもの人権110番」を常時開設しています。
8月28日から9月3日までを、全国一斉強化週間とし、同週間中は相談時間を延長して電話相談に応じます。

子どもの人権110番

【相談時間】 8月28日から9月1日は、8時30分から18時30分まで。9月2日・3日は10時~17時まで。
問い合わせ 広島法務局庄原支局 ☎0824-72-0347



ジフテリア・破傷風(二種混合)予防接種 第2期の実施

今回の予防接種は、乳幼児期に実施した三種混合または、二種混合予防接種第1期の追加接種です。追加接種とは、第1期の予防接種により作られた抗体(病気に対する抵抗力)をより高めるために接種するものです。そのため、第1期を規定回数(3回以上)接種していない人については、接種効果が望めないといわれています。

対象 庄原市に住民票または外国人登録のある人で、11歳・12歳の人です。 ※標準的な接種は、小学校6年生です。
予防接種の受け方 市が交付する「予防接種券」及び「予防接種票」を持って医療機関で接種を受けます。

不妊治療費 助成期間の延長

広島県では、指定医療機関で、不妊治療(体外受精または顕微授精)に要した費用に對して、1年度あたり10万円を限度として、通算5年間助成します。(平成18年4月1日から助成期間を、これまでの2年から5年に延長しました)。

ハローワーク サービスデー

ハローワーク庄原では、東城地域においてお仕事の相談、雇用保険の相談、その他の相談を毎月第2水曜日に行っています。
とき 9月13日(水) 10時~12時・13時~15時 ところ 庄原市役所東城支所
※東城地域以外の方も相談できます。

接種料金 無料

※公費負担(無料)で接種できるのは、12歳までです。
問い合わせ 保健医療課保健予防係 ☎0824-72-7074
及び各支所保健福祉課・市民生活課

税金

備北地域保健所保健課健康増進係 ☎0824-63-5181
※【お詫び】6月号32ページにこの記事を掲載しましたが、翌日を翌月と誤って掲載しました。深くお詫び申し上げます。

催し

ふるさと盆踊り 花火大会
毎年恒例となっている盆踊り花火大会。地元青年連盟によるゲーム大会や誰でも参加できる盆踊りの後、比和の夏を彩る花火を打ち上げます。

比婆山神話めぐりと 護符の水

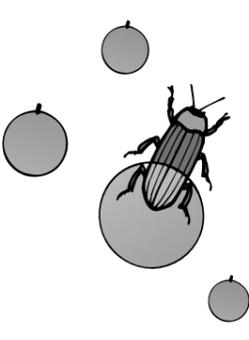
伊邪那美命にゆかりのある「千引岩」やブナ林から湧き出た「護符の水」など、地元越原地域の皆さんの案内で、比婆山から吾妻山まで縦走し、比婆山神話の霊域にある史跡を訪ねます。
とき 8月26日(土) 9時15分~16時
集合場所 国民休暇村吾妻山
参加費 1,500円
定員 30人
問い合わせ 国民休暇村吾妻山 ☎0824-85-2331

比婆斎庭神楽古式の舞

比婆斎庭神楽(広島県指定・無形民俗文化財)は高野町・比和町の神職が数百年来伝承してきました。古事記の世界を古式豊かに舞う神楽をこ

第58回特別展 鉱物とはなんだろう

砂鉄やろう石など、庄原地域の鉱物資源を中心に鉱物を系統的・総合的に展示します。
展示期間 7月26日(水)~9月18日(月)
ところ 比和文化会館
観覧料 大人300円、小・中学生100円
問い合わせ 比和教育課 ☎0824-85-3005



第58回 広島県美術展巡回展

とき 8月30日(水)～9月3日(日)10時～18時
ところ 田園文化センター
入場料 100円
問い合わせ 田園文化センター
☎0824-72-1159

第2回まちづくり 実践リレー講座

演題 自治振興区の将来像
～組織のあり方と運営について～
講師 岡山商科大学経済学部 教授 多田憲一郎
とき 8月18日(金)19時～21時
ところ ふれあいセンター
自治振興課自治振興係
☎0824-73-1209

第9回夏山ワクワク なぎなたフェスティバル

平成8年に開催された第51回ひろしま国体なぎなた競技会を記念して開催される、なぎなたの交流合宿と競技大会。日本全国から集まる選手に声援を。
とき 8月18日(金)～20日(日)
競技大会
8月19日13時30分～16時30分
8月20日9時～12時
ところ 西城町三坂
道後山高原総合体育館
問い合わせ 夏山ワクワクなぎなたフェスティバル実行委員会(西城支所西城教育課内)
☎0824-82-2445

東城『遊夏祭』

東城の夏の風物詩。夜空を彩る1,500発の花火は大迫力!!歌謡ステージ、屋台テントのほか、今年は元気な『踊り隊』が会場を盛り上げます。みんな浴衣で集まって、一緒に踊ろう。
とき 8月12日(土)17時開場
東城小学校グラウンド

庄原・絵手紙大賞 作品募集

募集作品 未発表の自作絵手紙(はがき大) 1人2点
画題 自由
対象 庄原市内在住(または勤務)の小学生以上の人
募集期間 8月10日～9月25日 ※9月25日(月)必着
応募問い合わせ 〒727-0021
庄原市三日市町159-1(白川牧子方)
庄原市文化協会事務局
☎0824-72-4347
〒727-0012
庄原市中本町二丁目5番6号
庄原市商工観光課商工振興係
☎0824-73-1179

エソールひろしま 大学受講生

エソール広島(広島県女性総合センター)では、男女共同参画社会の実現を目指し、「エソールひろしま大学基礎講座」を開催します。
基礎講座
月2回学習会を開催し、女性の歴史や法律、福祉、まちづくり、自己表現の方法などを学び、社会に活躍する力をつけます。
募集期間 8月15日まで(定員になり次第締め切り)
受講期間 10月～平成19年3月(計10回)
受講料 10,000円
○広島校(エソール広島)
広島市中区富士見町11-6
募集人数 30人 第2第4土曜日に開講
○福山校(イコールふくやま)
福山市西町1丁目1-1
福山ロッツ地下2階
募集人数 20人 第1第3土曜日に開講
問い合わせ (財)広島県女性会議
☎082-242-5262

第2回庄原市 美術展覧会作品募集

日本画・洋画・彫塑・工芸書写真。それぞれの部門で市民の皆さんの作品を募集します。
作品の搬入
とき 9月21日(木)～9月22日(金)10時～18時
ところ 田園文化センター
※応募要項及び申込書は各公民館・支所教育課・生涯学習係・田園文化センターにあります。
問い合わせ 田園文化センター
☎0824-72-1159

問い合わせ 東城『遊夏祭』実行委員会
☎08477-2-0525

『新未来日記』 夢探し体験ツアー

独身男性・女性参加者大募集
○セミナー
新しい出会い、そして自分発見。一緒に夢を語り合いましょ。男性向けセミナー、女性向けセミナー、交流会があります。
とき 8月20日(日)10時～16時
ところ 休暇村帝釈峡(東城町三坂)
参加費 2,000円(昼食・デザート代込み)
申込締切 8月14日(月)
定員 40人程度(男女各20人)
※セミナーは市内在住の男女が対象です。申込みされた方には詳細を別途お伝えします。
○一緒にスポーツ観戦しませんか『カープ観戦(ヤクルト戦)』
とき 9月2日(土)
広島市民球場へバスで往復します。(バスの中でも交流イベントあり)12時30分庄原バスセンター発、20時頃庄原バスセンター着予定。
参加費 2,000円
定員 男女各20人(先着順)

申込締切 8月21日(月)
※申込みされた方には詳細を別途お伝えします。
○秋の交流イベント(予告)
とき 9月23日(土)・24日(日)
口和町高野町比和町を会場に1泊2日で予定しています。
詳細については、後日市役所・各支所に配布する募集チラシをご覧ください。
その他 メーリング会員に登録して頂くと、セミナーとイベントの情報をメールなどでお知らせします。登録方法など詳しくはお問い合わせください。
申し込み・問い合わせ 男女の出会いづくりサポート実行委員会事務局(商工観光課観光交流係内)
☎0824-73-1178
FAX0824-72-0075
電子メール syoukou-kankou@city.shobara.hiroshima.jp



その他

庄原市中央公民館・庄原市民会館・庄原市公民館からのお知らせ
庄原市中央公民館・庄原市民会館・庄原市公民館では、つぎの時間帯について有人により警備を行っています。
9月1日から無人による機械警備に切り替えます。
各施設の利用申請、あるいはご利用の方法については以前と同様ですが、機械警備に切り替えた時間帯では電話などによる外部からの連絡ができなくなります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。
なお、詳しくは庄原市中央公民館(☎72-0849)・庄原市民会館(☎72-3777)・庄原市公民館(☎72-242)へお問い合わせください。
機械警備の時間帯
平日17時30分より翌日8時30分、土・日・休館日

その他 入賞作品、応募作品は10月7日～10日に市民ギャラリーアート多愛夢で展示します。入賞作品の著作権は主催者に帰属し、作品は返却しません。

人権作品の募集

生命の尊さや生きることのすばらしさ、躍動感、平和の大切さを表現した作品を募集します。応募資格は問いません。学校・グループ・職場単位で応募することもでき

ます。多くの皆さんのご応募をお待ちしています。
(募集部門)
●作文・詩の部 ●標語の部
●絵画・詩画・ポスター・写真・オブジェなどの部
(応募方法)
・作品は未発表のものに限り、一人一点とします。
・作品には、名前(学校名・学年)と住所をご記入のうえ、作品への思い入れなどを添えてください。(メモ程度で結構です)
・優秀作品の発表は、人権推進課広報紙『ペフェド』しようばら』などで行い、しようばら』から人権フェスタで展示・表彰し、記念品を贈呈します。
・作品を直接持参される場合は、庄原市ふれあいセンター人権推進課または各支所市民課・市民生活課まで。郵送の場合は、庄原市ふれあいセンター宛てにお願いします。
(申込締切)
10月20日(金)必着
作品の郵送先・問い合わせ
〒727-0013 庄原市西本町四丁目5-26
庄原市ふれあいセンター
人権推進課人権推進係
☎0824-75-0301

Yoitoko

26th SHOBARA-YOITOKO-MATSURI

第26回
庄原よいとこ祭

8月 25(金)・26(土)・27(日)

庄原の夏を締めくくる一大イベント「庄原よいとこ祭」

今年も、パレードや花火大会などのメインイベントをはじめ、各種イベントが盛りだくさん。夏の夜を熱く盛り上げる「よいとこ祭」にご期待ください！

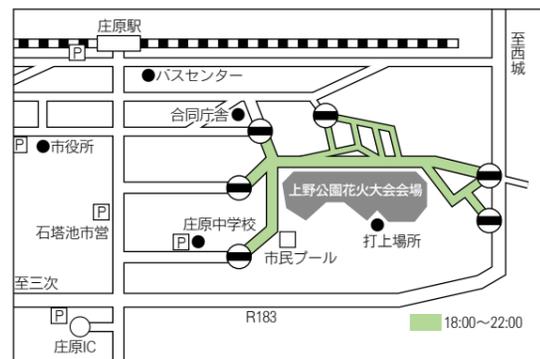
- 主な内容**
- 25日(金) 18:00～ オープニングイベント、歌祭/庄原市民会館
 - 26日(土) 12:00～ 紙相撲大会など各イベント/庄原小学校グラウンド パレード/市街地
 - 27日(日) 10:00～ 芸能祭(庄原市文化協会)/庄原市民会館 バンドコンテスト/楽笑座
花火大会/上野公園

■問い合わせ 庄原よいとこ祭実行委員会 TEL.0824-73-0811 FAX.0824-73-0812
※日時・場所・内容についてはあくまでも予定です。変更などがありますのでご了承ください。

【庄原夏まつり花火大会】

3,000発の花火が、庄原の夜空を華やかに彩ります。
なお、当日は交通規制が実施されますので、下記の地図を参考にしてください。

- とき 8月27日(日) 19時30分～21時 ※雨天の場合は28日(月)に順延
- ところ 上野公園
- 駐車場 中学校臨時駐車場、市役所広場駐車場、石塔市営駐車場、庄原駅横市営駐車場、ザ・ビッグ庄原店駐車場、田園文化センター駐車場(駐車可能時間:18時～22時30分)
- 交通規制 18時～22時(地図を参照してください)
- その他 ●当日は、市民プールは休止します。
●上野公園の駐車場は利用できません。
- 問い合わせ 庄原観光協会
TEL.0824-73-0602



川島球花さん 清水良美さん 八谷里美さん

【庄原市観光アシスタントが決定】

市内各観光協会、観光協会連合会及び市で構成する「庄原市観光キャンペーン実行委員会」では、市民を代表して市の宣伝やPRをする庄原市観光アシスタント3人を決定しました。

2年間がんばりますので、
よろしくお願ひします！



お詫びと訂正
4月号の別冊「各部署の配置と職員のご案内」6ページで、環境衛生課の電話番号に誤りがありました。次のとおり訂正するとともに、深くお詫び申し上げます。
(誤)0824-73-1631
(正)0824-72-1631

県立広島大学
オープンキャンパス
とき
8月11日(金)10時～16時
ところ 庄原キャンパス
内容 学科紹介、模擬講義、個別相談など
問い合わせ 県立広島大学
0824-74-1700

8月は

「道路ふれあい月間」です

私たちが日頃なにげなく使っている道路には、色々な機能があります。自動車や歩行者が通行するほか、上下水道管などの公共的な施設を収容する機能、またコミュニケーションの場や、安らぎの場としても使われています。
このように、道路は私たちの生活に欠かすことのできない重要な社会資本ですが、身近な存在のため、その重要性が見過されがちです。誰もが毎日使う道路。8月10日の「道の日」を契機に、道について見直してみませんか。

住民、団体の方々に「道の里親」として、国道・県道の清掃や緑化をお任せすることで、行政とパートナーシップを形成し、住み良いまちづくりを目指していくものです。
また、自分たちの利用する道路を自分たちできれいにするという気持ちを持つことで、美化意識の向上や地域への愛着も生まれます。参加者の活動は、広島県が設置する表示板によって形となって示され、表示板がドライバーや歩行者の目にも触れることで、ポイ捨ての抑止となり、散乱ごみの減少にもつながります。
なお、道路管理者は、この活動に対して傷害・賠償責任保険に加入して万に備えます。
制度に関心を持たれた方は、お問い合わせください。
建設課管理係
0824-73-1150
及び各支所環境建設課・建設課

平成18年度 自衛官採用試験の案内

採用種目	応募資格	受付期間	試験日
防衛大学校学生	推薦 高卒(見込含)21歳未満の人 ※推薦については高等学校長の推薦などが別途必要です。	9月5日～9月7日	9月23日・24日
	一般 高卒(見込含)21歳未満の人 (自衛官は23歳未満)	9月8日～9月29日	1次 11月11・12日 2次 12月12～15日
防衛医科大学校学生	高卒(見込含)21歳未満の人	9月8日～9月29日	1次 11月4・5日 2次 12月6～8日
看護学生	高卒(見込含)24歳未満の人	9月8日～9月29日	1次 10月15日 2次 11月18・19日
陸上自衛官(看護)	免許取得者	9月8日～9月29日	11月19日
	36歳未満の人		
	免許取得見込者		33歳未満の人

問い合わせ/自衛隊三次地域事務所 ☎0824-62-0350 総務課行政係 ☎0824-73-1123

犬・猫の引き取り

8・9月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。なお、手続きには認印が必要ですので、持参してください。

日 程	場所および時間
庄原地域 毎月第1～第4火曜日 8月1・8・15・22日 9月5・12・19・26日	東公民館……11時～11時10分 市役所車庫前……11時25分～11時35分 敷信公民館……11時50分～12時
西城地域 毎月第1・第3木曜日 8月3・17日 9月7・21日	西城支所……9時～9時10分
東城地域 毎月第1・第3木曜日 8月3・17日 9月7・21日	小奴可研修センター……9時40分～9時50分 東城文化会館……10時20分～10時30分
口和地域 毎月第4木曜日 8月24日・9月28日	口和支所……11時40分～11時50分
高野地域 毎月第4木曜日 8月24日・9月28日	高野支所……13時20分～13時30分
比和地域 毎月第4木曜日 8月24日・9月28日	比和支所……13時50分～14時
総領地域 毎月第2水曜日 8月9日・9月13日	総領支所……9時40分～9時50分 (スクールバス駐車場)

献血のご案内

献血を、つぎのとおり実施します。皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会 場	受付時間
8月31日(木)	庄原市役所	10時～11時30分 12時30分～15時
9月 8日(金)	庄原赤十字病院	11時30分～15時

■問い合わせ 保健医療課医療係 ☎0824-73-1155

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

9月の展示案内

●世界児童画展
9日(土)～12日(火)
10時～17時 ※入場無料

●問い合わせ
庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-4347(白川)
生涯学習課社会教育係 ☎0824-73-1188
商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1179
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はいりません



休日診療のご案内

8月・9月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

月日	診療所名	電話番号
8月13日(日)	牧原医院	0824-72-0057
15日(火)	戸谷医院	0824-72-3131
20日(日)	河本医院	0824-75-0311
27日(日)	笠間医院	0824-72-0535
9月3日(日)	庄原赤十字病院	0824-72-3111

※庄原赤十字病院については、救急患者に限ります

●東城地域

月日	診療所名	電話番号
8月13日(日)	細川医院	08477-2-0054
14日(月)	東城病院	08477-2-2150
15日(火)	瀬尾医院	08477-2-0023
20日(日)	こぶしの里病院	08477-2-5255
27日(日)	日伝医院	08477-2-2180
9月3日(日)	三上クリニック	08477-2-1151

9月の九日市



庄原地域の市街地で、毎月9日に開催される市です。

と き 9月9日(土) 10時～
と ころ 中本町筋・下本町・中央通り
ぜひお越しください。

市税 水道料金 下水道使用料

納付は 便利な口座振替で

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。

※残高確認も忘れないでください。
◎ 税務課収納係 ☎0824-73-1145
◎ 下水道課管理係 ☎0824-73-1175
◎ 水道課業務係 ☎0824-73-1197



人の動き(6月末日現在)

【住民基本台帳登録人口】
○人口 43,451人(前年比-625人)
男 20,596人(前年比-333人)
女 22,855人(前年比-292人)
○世帯数 16,272世帯(前年比+7世帯)
【外国人登録人口】
○人口 298人(前年比+15人)

広報日記

長期総合計画審議会や地域審議会でも熱く議論されたのが、10年後の目標人口。人口は活力を生み出す指標とも言われ、目標人口をどこに設定するのか市民の関心が高いところ。また、目標人口を達成するため、行政・住民は何をすべきかが問われています。10年後のまちのありべき姿など長期総合計画に関するご意見をお待ちしています。

備北丘陵公園

だより



備北公園管理センター ☎0824-72-7000

「こたわり」涼「体験」、好評開催中!!

夏休み真っ盛り。備北丘陵公園では「夏まつり」を開催中です。

今年のテーマは「こたわり」涼「体験」。暑い夏だからこそ嬉しい「涼」。家族みんなでおもいっきり楽しめましょう!
「こたわり」涼「体験」は、遠出をしなくても一日を満喫できる、なつかしの非

「手軽にできる」ウッドバーニング教室

「ウッドバーニング」は、ペン先の先が熱くなる「電熱ペン」という道具を使って、輪切りにした木の絵を描きます。あたたかい木の風合いに、やさしい色合いの焼き目が美しく、

日常空間にひばの里では、手打ち蕎麦体験など、毎日日替わりでおいしい「食づくり体験」を開催。週末・お盆の時期には取っておきの「涼メニュー」が登場します。
また、8月19日(土)20日(日)には「さ」とやま屋敷の「大流しうどん体験」を開催!屋外で味わう風情はもろろん、うどんには吟醸酒に使用する米粉で作った地元庄原産の特選うどんを使用します。格別の味をご賞味ください。

なお、土・日・祝日およびお盆期間を除く平日でも毎日「手打ち蕎麦体験」を開催しています。※平日の体験希望の際は事前に電話にてご予約願います。



丘陵公園「大流しうどん」

夏休みのイベントの詳細な日程につきましては、電話もしくは公園ホームページ(<http://www.bihoku-park-go.jp/>)にてご確認ください。

食彩館しょうばら ゆめさくら

【8月のイベント情報】

- 庄原中学校書道作品展示会
期 間 8月2日(水)～12日(土)
- ゆめさくら夏祭り
期間中は試食・ミルク缶重量当てクイズなどを開催します。
期 間 8月5日(土)～15日(火)
- 木工作品実演・展示会～木から作る動物たち～
と き 8月13日(日)・27日(日)11時～15時
- ゆめさくら手作り講座～夏野菜で作る田舎料理～
と き 8月20日(日)10時～14時
講 師 小林富子さん(郷土料理研究家)
参加費 1,500円 定員20人

ゆめさくら交流ホール・実技体験室は、料理講座・体験講座・作品展示会・研修会議等にご利用いただけます。申し込み・問い合わせは事務室まで。

「ふれあい市長室」の日程

- と き 8月12日(土)、9月9日(土) 9時～12時
- と ころ 8月:東城支所 9月:口和支所
※公務により実施できない場合もあります。
※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事業担当課へお願いします。
- 問い合わせ 情報推進課広報統計係 ☎0824-73-1159

時悠館 考古学体験子ども教室

古代の土器にふれ、遺跡の発掘や縄文土器づくりなどを体験してみませんか。
と き:8月20日(日)、9月3日(日)、9月24日(日)
と ころ:時悠館研修室
対 象:小学校4年生から中学校3年生
募集人数:15人
問い合わせ:時悠館 08477-6-0161

発見! しょうばら

この夏は登山に挑戦してみませんか。
山頂に広がる景色や縦走の楽しみ、ブナや高山植物・・・
個性あふれる山々を十分に満喫してください。
商工観光課観光交流係 ☎0824-73-1178

比和地域



吾妻山 (標高1,239m)

草花・高山植物の宝庫で、天然の芝生や池、ブナの原生林があります。吾妻山の庭園のような景色は、タタラ製鉄により人工的に手が加えられた名残で、晴れた日には山頂から日本海や穴道湖、大山が望めます。

また、麓から休暇村吾妻山まで歩いて登る1時間程度の登山道があり、道中には滝もあります。秋にはマツムシソウ、リンドウなどの可憐な草花がお出迎えます。

■休暇村吾妻山～40分～吾妻山～80分～烏帽子山～30分～比婆山(御陵)

比和地域



福田頭 (標高1,252m)

登山道沿いには「一ノ滝」「二ノ滝」「三ノ滝」そして「昇竜の滝」があります。ブナ樹林帯が広がり、遊歩道のような整備が一切なされていないため、古来の自然が残る山として人気で、山頂からは吾妻山や三瓶山、大山などが望めます。登山情報や休憩は、比和総合運動公園内の「かさべるで」をご利用ください。

約4時間の行程で、中級者以上にお勧めです。

■福田上集会所～35分～林道終点～35分～三ノ滝～30分～大波峠～40分～福田頭～20分～免舞台頭～35分～下山口～50分～福田上集会所

比和・西城地域



比婆山(御陵) (標高1,264m)

比婆山連峰のおすすめは、天然記念物のブナ林! 新緑の中を歩く登山は最高です。出雲峠から烏帽子山・比婆山をとりぬけるとそこには樹齢100年を超えるブナ林が・・・その中に入った瞬間! 空気が変わる。そのひと時をぜひ味わってください。

県民の森公園センター出発で、約1時間30分コースから10時間を越えるコースまで何種類ものコースがあり、初心者から上級者まで楽しめます。

■立烏帽子山駐車場～30分～池の段～60分～比婆山(御陵)

■立烏帽子山駐車場～30分～立烏帽子山～20分～池の段～60分～比婆山(御陵)

西城地域



道後山 (標高1,269m)・岩樋山 (標高1,271m)

優美でなだらかな山容から「中国山地の女王」と称えられる道後山。頂上付近ではイワカガミやマツムシソウなどの高山植物が季節ごとに可憐な彩りを見せます。山開きが行われる初夏の頃は、たくさんのツツジが咲き誇り、道後山が最も美しい季節と言われます。晴れた日に山頂に立てば遥か大山や島根半島を望むことができます。

■岩樋山1週コース約1時間35分、道後山・岩樋山1周コース約2時間30分で、歩きやすく、初心者・初級者にも安心です。

庄原地域



葦嶽山 (標高815m)

日本ピラミッドと呼ばれる葦嶽山は、昔から神武天皇陵と言い伝えられ、その神秘的な山容と巨石群は古代遺跡の謎とされていましたが、昭和9年にピラミッド研究家の酒井勝軍が山頂で太陽石と磐境を発見し「葦嶽山は世界最古のピラミッドの本殿で隣の鬼叫山はその拜殿である」と発表しました。葦嶽山へは2つのルートがあり、灰原ルートにはさまざまな樹木が植栽され、遊歩道のあじさいや、秋のモミジなど四季折々に表情が変わり、ハイキングや森林浴の場所としても親しまれています。(徒歩約30分)

■野谷ルートは、初心者向けの登山コースです。(徒歩約40分)

口和地域

八国見山 (標高844m)

山頂からは備後・出雲、遠くは四国の地を望むことができることから名づけられたといわれています。山頂まで約1時間で初心者向けです。近くの「手洗滝(ちょうずかたぎ)」や「七色木」も一緒に楽しめます。※登山道の草刈がされていない可能性があります。

釜峰山 (標高788m)

中腹にある釜峰神社は必勝の神として古くから信仰され、今でも受験祈願などに多くの人々が訪れます。山頂にはあずま屋もあり、遊歩道が整備されています。山頂まで約40分で初心者向けです。

黒岩城址 (標高457m)

戦国時代の山城址で登山道も整備され気軽に登れます。山頂まで約30分で初心者向けです。

高野地域

大万木山 (標高1,218 m)

登山口から頂上まで、1時間から1時間半で登られます。山頂のブナ林は色々な広葉樹も混じり、美しい四季折々の花や実を見せてくれます。大万木山は一般に高野町では「おおまんぎやま」、他の地域では「おおよろぎさん」と呼ばれています。